

事後評価シート

【評価年月】 平成16年4月

【主管課・室】 環境保健部企画課特殊疾病対策室

【評価責任者】 特殊疾病対策室長 青木 龍哉

施策名、施策の概要及び予算額

| | |
|-------|---|
| 施策名 | - 9 - (2) 水俣病対策 |
| 施策の概要 | 平成7年水俣病問題政治解決に際しての閣議了解等に基づき、水俣病総合対策（健康管理事業、医療事業） チッソ支援などの地域振興 水俣病経験の情報発信と国際貢献 水俣病に関する総合的研究 等を実施するものである。 |
| 予算額 | 9,593,727千円 |

目標・指標、及び目標の達成状況

| | |
|------|--|
| 目標 | 水俣病総合対策について、平成7年の閣議了解等に基づき着実に実行する。また、水俣病に関する国際協力及び総合的研究について、着実に進める。 |
| 達成状況 | 水俣病総合対策については、平成7年の閣議了解等に基づき、水俣病総合対策、地域再生・振興などを着実に実行した。また、水俣病に関する総合的な研究については、医学的研究や臨床・疫学研究を行うなど着実に実施した。 |

| | |
|-------|--|
| 下位目標1 | 平成7年の水俣病問題解決に当たっての閣議了解等を踏まえ、水俣病総合対策、地域再生・振興などを着実に実行する。 |
| 達成状況 | 平成7年の水俣病問題解決に当たっての閣議了解等を踏まえ、水俣病総合対策、地域再生・振興などを着実に実行した。特に、総合対策医療事業においては、地域住民約8千人に対して健康診査を始めとした健康管理事業を実施するとともに、約1万人の手帳保持者に対して療養費の支給をはじめとした医療事業を実施した。 |

| | |
|-------|---|
| 下位目標2 | 水俣病の経験を国内外に情報発信し、世界各地で顕在化している水銀汚染問題について、我が国の経験と技術を活かした国際協力を進める。 |
| 達成状況 | 国立水俣病総合研究センターにおいては、平成15年11月に、南デンマ |

ーク大学の研究者等を招聘して「微量メチル水銀曝露と幼児成長に関する国際フォーラム」を開催したほか、12月には、ブラジルにおいて「水銀の健康と環境への影響に関する国際ワークショップ」を開催地国及び周辺国等の研究者の参画を得て開催した他、延べ17名の海外研究者の招聘、延べ22名の研究者の海外派遣及び137名の開発途上国等からの研修生の受け入れを行った。

平成16年3月、東京において「水俣病経験の普及啓発セミナー」を40名の大学の教育者、研究者等を対象として開催し、水俣病経験の普及啓発を図った。また、水俣市においてタイ・インドネシア・中国など7カ国14名の行政担当者を招聘し「語り部」さんの講話を中心に研修を行った。

国立水俣病総合研究センターの附属施設である「水俣病情報センター」を活用し展示を行った他、市立水俣病資料館と協力し「語り部講話」を71回、県環境センターと協力し「環境学習」を20回開催するとともに、「微量成分ワークショップ」、「国立水俣病総合研究センター公開セミナー」及び「健康セミナー」を開催し、平成15年度約31,000人の来館者を得た。また、別途ホームページ等による情報発信を実施した。

評価、及び今後の課題

| | |
|------------|--|
| <p>評 価</p> | <p>【必要性】(公益性、官民の役割分担等)</p> <p>平成7年の水俣病問題の政治解決に際しての閣議了解事項等を着実に実行することが必要である。</p> <p>【有効性】(達成された効果等)</p> <p>平成7年の水俣病問題の政治解決に際しての閣議了解事項等を着実に実行し、水俣病の経験を若い世代や海外の人々に伝えていくことで、水俣病のような悲劇を二度と繰り返すことのないよう被害の未然防止等を図った。</p> <p>【効率性】(効果とコストとの関係に関する分析等)</p> <p>水俣病経験の情報発信と国際貢献及び水俣病に関する総合的研究等閣議了解事項を着実にを行うことにより、水俣病のような悲劇を二度と繰り返すことのないよう被害の未然防止が図られる。</p> <p>下位目標1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の高齢化に対応した水俣病総合対策の運用改善及び地域再生・振興の着実な実施など、地元団体等関係者の評価が高い。 |
|------------|--|

| | |
|--------------|--|
| | <p>下位目標 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信と国際貢献については、国内においてもセミナーを開催したほか、水銀汚染が懸念される国の行政担当者を招聘し実施した。普及啓発セミナーは啓発効果が大きく、各国から参加した関係者の評価も高い。 <p><目標に対する総合的な評価></p> <p>水俣病総合対策については、対象者の高齢化に対応した水俣病総合対策の運用改善、及び地域再生・振興の着実な実施など、地元団体等関係者の評価が高く、今後も確実に実施していく必要がある。</p> <p>普及啓発セミナーの開催を通して水俣病の経験を大学の教育者、研究者等に伝えることや、水銀汚染が懸念される国の行政担当者を招聘し実際に水俣病の現場を見ることは啓発効果が大きいと考えられるため、国内外の水銀汚染問題の防止に向け、こうした貢献等を引き続き強化していく必要がある。</p> <p>水俣病に関する総合的研究については、医学的研究や臨床・疫学研究を進めているが、近年UNEPを中心として低濃度の水銀汚染による影響解明の取組が進みつつあり、こうした国際社会の課題に対し、積極的に対応する必要がある。</p> |
| <p>今後の課題</p> | <p>水俣病総合対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも確実に実行していく必要がある。 ・地元団体からの要望に添って、対象者の高齢化等に対応した運用面の改善等、可能な限り応えていく必要がある。 <p>チッソへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因者としての責任を確実に遂行させる必要がある。 ・平成12年の閣議了解に基づき、所要の支援措置を講じていく必要がある。 <p>情報発信と国際貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き水俣病経験を国内外に発信し、世界各地の水銀汚染問題の防止に向けた国際貢献等を強化していく必要がある。 <p>水俣病に関する総合的研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年UNEPを中心として種々の水銀汚染による影響解明の取組が進みつつあり、こうした国際社会の課題に対し、積極的に対応していく必要がある。 |

政策への反映の方向性

| 反映方向分類 | 理由の説明 |
|--------|--|
| 2 | 水俣病総合対策について、平成7年の閣議了解等に基づき確実に実行し、水俣病に関する総合的研究について、着実に進める必要がある。 |

【別紙】

事務事業シート

| | | |
|------------------|---|---|
| 施策名 | - 9 - (2) 水俣病対策 | |
| 施策共通の 主な政策手段等 | | |
| 事務事業名 | 事業の概要 | 主な政策手段等 |
| 水俣病対策 | <p>平成7年水俣病問題政治解決に際しての閣議了解等に基づく、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水俣病総合対策 (健康管理事業、医療事業) ・チッソ支援などの地域振興 ・水俣病経験の情報発信と国際貢献 ・水俣病に関する総合的研究等の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「水俣病対策について」(平成7年12月15日閣議了解) ・水銀汚染対策等調査推進事業 (30百万円) ・水俣病総合対策等関係経費 (1,723百万円) ・水俣病対策地方債償還費 (7,020百万円) ・健康被害調査研究費 (水俣病に関する総合的研究) (30百万円) ・国立水俣病総合研究センターに必要な経費 (718百万円) |